

資産運用業協会 発足式
片山財務大臣兼金融担当大臣 祝辞
(令和8年4月3日(金) 12:05~12:08)

皆さん、こんにちは。財務大臣兼金融担当大臣の片山さつきです。

この度は、我が国の資産運用業界を長きにわたり支えてきた歴史ある「投資信託協会」及び「日本投資顧問業協会」が統合され、資産運用立国の実現に向け新たに「資産運用業協会」が発足しましたこと、心よりお祝い申し上げます。

また、新協会の発足にあたり、関係者皆様のご尽力に、深く感謝申し上げます。本日、この歴史に刻まれる瞬間を共有できますこと、誠に光栄に思います。

現在、「資産運用立国」に向けた貯蓄から投資への取組の成果を活かしつつ、その実現に向け、取組を更に推進・発展させております。足元では、2024年1月に開始された新しいNISA制度の下で、18歳以上の国民の4人に1人がNISA口座を保有する状況に至るなど、「貯蓄から投資へ」の動きは着実に広がっております。

資産運用業は、資産運用立国の主要な担い手として、その社会的重要性は益々高まっています。投資家のニーズに応える良質なサービスの提供を通じ、家計や機関投資家の資産の成長を支え、また、世界の投資家の資金を取り込むことで、日本経済の成長を支えていただきたいと思います。

新たに発足する「資産運用業協会」におかれては、1000兆円規模の運用資産を有する協会として、菱田新会長のリーダーシップの下、資産運用立国の実現を力強く後押ししていただければと思います。

金融庁では、昨年7月の資産運用課の新設に続いて、今年夏に組織再編を行い、益々重みが増す資産運用業およびアセットオーナーでもある保険業に対する監督の連携強化を図ること等を目的として、「資産運用・保険監督局」の設置を予定しています。金融庁としても、引き続き、資産運用立国の更なる推進に向け、新協会を力強くサポートしてまいります。

本日は資産運用業界のみならず、多方面の関係者をご出席されていると承知しています。皆様方におかれましても、それぞれのお立場で「資産運用立国」の担い手となっていただき、日本市場の更なる発展に向けて、官民一体となって取り組んでいけたらと思います。本日は誠にありがとうございました。

(以上)